

# 7

## ホルモンの状態は自分でわかるの？

からだのいろいろな場所で作られたホルモンは、血液の流れによって運ばれてさまざまな臓器や組織にはたらきかけています。とくに女性では一生の間に女性ホルモンの影響を大きくうけて、月経、妊娠、出産、更年期といったからだの変化を経験します。ホルモンの量が多すぎたり、少なすぎたりすると、不快な症状やいろいろな病気がおこってくることがあります。

### <ホルモンの検査>

成長ホルモンや甲状腺ホルモンなど、多くのホルモンは血液中のホルモン量を測定して異常を発見することができます。また、妊娠したときに分泌されるホルモンは尿中にも出るため、妊娠検査薬を使った尿検査で妊娠を知ることができます。ただし、妊娠検査薬では、正常な妊娠なのか、異常な妊娠（以前は子宮外妊娠といわれていた異所性妊娠など）なのかまではわかりません。必ず産婦人科を受診することが大切です。

### <何となくからだの不調を感じたら…>

ひとりで思い悩まずに、かかりつけのお医者さんに相談してみましょう。必要に応じてホルモン（内分泌）の専門医を受診するようすすめてくれるかもしれません。血液検査や尿検査をして、原因がはっきりとわかることもあります。

